

# 松江市立鹿島歴史民俗資料館だより

No.37

2023年8月発行

## ■ 市指定文化財記念

企画展「海上の覇者 奥才古墳群」展を開催中

このほど、奥才古墳群出土資料169点が松江市指定文化財に指定することが答申されました。これを記念して、標記の企画展を開催しています。9月10日まで。

奥才古墳群は日本海に近い鹿島町名分の講武平野を見下ろす丘陵上に所在し、古墳時代前半期の68基の古墳が群集しています。特に古墳時代前期での群集は県下でも類を見ない規模です。

当古墳群は、各古墳の規模はそれほど大きくないものの、大古墳に匹敵する優秀な副葬品を持ち、小石を敷きつめた丁寧な作られた石棺から、3mを超えるような奥才型木棺と呼ばれる独自の棺を生み出し、その形式の棺が日本海沿岸に広く分布するようになることから、日本海を往来し、各地の文物や情報の流通を担った集団の墓域と考えられます。

ここに埋葬された人々が、海上交通を掌握し、倭政権と海強いかかわりを持っていたことを示す歴史的にも重要な古墳群の資料として指定に至ったもので、今回は、その成果を展示します。



奥才古墳群出土資料の一部

